

大分工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	政治・経済
科目基礎情報					
科目番号	R03S103		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	情報工学科		対象学年	1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	(教科書) 間宮陽介ほか著『政治・経済』東京書籍 / (参考図書) 拙著『憲法講義 HANDBOOK』インプレス R&D / (参考図書) 適宜レジュメなどを配布することがあるほか、講義内で紹介する。				
担当教員	小関 康平				
到達目標					
(1) 憲法その他の法令に規定される我が国の統治機構その他について基礎的な知識を学修する(定期試験等)。 (2) 政治学的・憲法学的諸問題, 経済学的諸問題, そのほか国内外の社会科学上の諸問題について基礎的な知識を学修する(定期試験等)。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	憲法その他の法令に規定される基本権及び統治機構その他について十分に理解している。		憲法その他の法令に規定される基本権及び統治機構その他についてある程度理解している。		憲法その他の法令に規定される基本権及び統治機構その他について理解していない。
評価項目2	政治学的・憲法学的諸問題, 経済学的諸問題, そのほか国内外の社会科学上の諸問題について, 講義で扱った事項を十分に理解している。		青年期における哲学的・心理学的諸問題, 政治学的・憲法学的諸問題, 経済学的諸問題, そのほか国内外の社会科学上の諸問題について, 講義で扱った事項をある程度理解している。		政治学的・憲法学的諸問題, 経済学的諸問題, そのほか国内外の社会科学上の諸問題について, 講義で扱った事項を理解していない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (A1)					
教育方法等					
概要	政治・経済を中心とした社会科学に関する諸問題を扱います。 (科目情報) 後期 1 コマ 授業時間 23.25時間 関連科目 現代社会, 法学概説, 経済学概説				
授業の進め方・方法	【授業の進め方】基本的には講述の形式によるが, 学生諸君の予習復習の程度が高い場合には, 適宜, ソクラテス・メソッドにより講義を進行させることがある。また, 講義に際してレジュメ等を配布することがある。 【授業内容・方法】政治・経済を中心とした社会科学に関する諸問題を扱います。 【事前学習】事前提示されている教材等を丹念に読み, 知らない言葉の意味を調べ, 予習ノートを作成するなどして, 次回の講義の展開についてある程度の検討をつけておくこと。				
注意点	(履修上の注意) しっかり予習・復習すること。 (自学上の注意) 授業内容をそのつど予習・復習すること。				
評価					
【定期試験】達成目標 (1) (2) につき2回の試験により評価します。 【総合評価及び単位取得の条件】原則として定期試験の平均を総合評価とし, それが60点以上である場合に合格とします。ただし, 例外的におよそ10%程度を限度として, 平常点を考慮することにより総合評価における評点を補正する場合があります。なお, その際の平常点の算定根拠は, 適宜実施するリアクションペーパー, 小テスト, 任意のリポート等であり, これらを総合考慮して算定します。 中間試験の評点×0.5+期末試験の評点×0.5=総合評価 【再試験】実施することがあります。詳細は開講後に適宜案内します。					
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☒ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	イントロダクションー「現代社会」の総括と「政治経済」への導入	本科目の学修方法について理解し, 政治経済の全体像について概観することができる。	
		2週	日本国憲法上の諸権利 (裁判例の分析と制度の解説) I	日本国憲法上の諸権利について理解できる。	
		3週	日本国憲法上の諸権利 (裁判例の分析と制度の解説) II	日本国憲法上の諸権利について理解できる。	
		4週	権力分立原理と我が国の統治機構の概観 国会と選挙 I	権力分立原理と我が国の統治機構の全体像について理解できる。 / 国会と選挙について理解できる。	
		5週	国会と選挙 II 内閣と行政機構 I	国会と選挙について理解できる。 / 内閣と行政機構について理解できる。	
		6週	内閣と行政機構 II	内閣と行政機構について理解できる。	
		7週	裁判所の組織と権能 I	裁判所の組織と権能について理解できる。	
		8週	裁判所の組織と権能 II	裁判所の組織と権能について理解できる。	
	4thQ	9週	後期中間試験	後期中間試験までの学修内容を理解できる。	
		10週	後期中間試験の解説 / 社会科学の諸問題	後期中間試験までの学修内容を理解できる。 / 政治学的・憲法学的諸問題, 経済学的諸問題, そのほか国内外の社会科学上の諸問題について, 講義で扱った事項を理解できる。	
		11週	地方自治 I / 国際社会における諸問題 I / 現代の資本主義経済と現代経済のしくみ I	地方自治について理解できる。 / 国際社会における諸問題について理解できる。 / 現代の資本主義経済と現代経済のしくみについて理解できる。	

		12週	地方自治Ⅱ／ 国際社会における諸問題Ⅱ／ 現代の資本主義経済と現代経済のしくみⅡ	地方自治について理解できる。／ 国際社会における諸問題について理解できる。／ 現代の資本主義経済と現代経済のしくみについて理解できる。
		13週	地方自治Ⅲ／ 国際社会における諸問題Ⅲ／ 現代の資本主義経済と現代経済のしくみⅢ	地方自治について理解できる。／ 国際社会における諸問題について理解できる。／ 現代の資本主義経済と現代経済のしくみについて理解できる。
		14週	社会科学の諸問題	政治学的・憲法学的諸問題、経済学的諸問題、そのほか国内外の社会科学上の諸問題について、講義で扱った事項を理解できる。
		15週	後期末試験	後期末試験までの学修内容を理解できる。
		16週	後期末試験の解答と解説	後期末試験までの学修内容を理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	試験	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0